

2課商品案内⑭

第14回の今回は、『アテント温められるからだ拭き超大判個包装タイプ』と『クリーンエプロン』です。

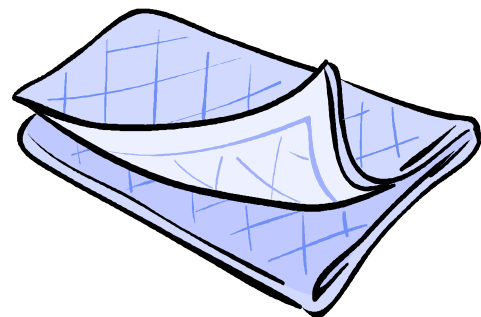
まずご紹介するのは、『アテント温められるからだ拭き超大判個包装タイプ』です。突然の嘔吐や汚物処理に個包装タイプのウェットタオルが発売になりました。

この商品是不織布で出来ており、丈夫です。最大の特徴は電子レンジやホットウォーマーで温めて使用することができることです。これにより、寒い冬の季節に利用者が冷たいからだ拭きで、不快な思いをすることなく過ごすことができます。

サイズは60cm×30cmの超大判タイプ(アテントからだ拭きの2倍大きさ)なので1枚でからだ全体をふき取ることができ、使い過ぎの防止にもなります。また、手袋を着けたままでも破りやすいフィルムになっています。

感染症が流行るこの時期では、従来のバック包装のウェットタオルでは、パッケージ経由の感染リスクが否定できませんが、この商品は個包装のため院内感染の予防というメリットもあります。また、災害時などの備蓄品にも活躍が期待されます。

散歩や外出時では、汗拭きやお手拭などでもご使用いただけますので、院内、外出時、緊急時などたくさんのお面で皆様の生活をサポートできる商品になっております。鞆に1つ2つ常備していると安心です。



次にご紹介するのは、『クリーンエプロン』です。ノロウイルスやインフルエンザ対策でマスクやプラスチック手袋を装着することは根付いてきましたが、身体全体はいかがでしょうか。

汚物処理時や清拭時に汚物(嘔吐物など)が衣服や身体の一部に付着してそこから感染することもあります。この『クリーンエプロン』はポリエチレン製になっており、水分を通さずバリア性に優れていますので、処理時の感染のリスクから身体を守ってくれます。また、ディスポーザブル(使い捨てタイプ)なので洗濯等の業務の省力化にも役立ちます。色も3種類(ホワイト、ブルー、ピンク)あり、それぞれに袖付タイプと袖なしタイプがありますので、用途や部署ごとに使い分けることもできます。

商品の詳細に関しては弊社の担当営業か、営業2課までお気軽にお問い合わせください。

(S)

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業1課
027-361-5734
営業2課
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-kabasawa
@kamisugiura.co.jp

ニュースレターQ

天保8年(1837年)創業

スギウラ株式会社 027-361-5808

2013年12月1日 発行 第77号

特 集

- ・ 秋のキャンペーン終了!
- ・ ゆるキャラグランプリ 2013
- ・ マスキングテープ
- ・ 漢方で風邪対策!
- ・ 第23回老人保健施設大会
- ・ 2課商品案内⑭

秋のキャンペーン終了!

すっかり日暮れが早くなってきましたね。冬至が近づき、いよいよ冬本番です。12月になりました。冬着の用意にスタッドレスタイヤへの履き替えなど、皆さま、冬への備えはお済みでしょうか。体調や事故に気をつけながら、師走の名に違わない、忙しい月になればいいなと思っております。

さて、9月から3ヶ月にわたって行ってきた三菱製紙の「金菱」「ニューVマット」「NCR スーパー」のキャンペーンが終了となりました。今回、偶然

にも〇〇周年というメモリアルが重なったため開催することができたキャンペーン。これまでもお使いいただいたお客様はもちろん、このキャンペーンを機会にこれら3銘柄をお使いいただいたお客様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。キャンペーンは終了となりましたが、引き続き三菱製紙の紙をご最良頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

(K)

ゆるキャラグランプリ 2013

先月11月24日に「ゆるキャラグランプリ 2013」の投票結果が発表されました。ゆるキャラグランプリとは、地域や企業などを代表する「ゆるいマスコットキャラクター」つまり「ゆるキャラ」の、その年のナンバー1を決めるお祭りのことです。そのゆるキャラグランプリで群馬県の「ぐんまちゃん」が3位に入賞しました。ちなみに1位はおとなり栃木県佐野市の「さのまる」。2位は静岡県「出世大家康くん」でした。滋賀県彦根市の「ひこにゃん」や熊本県の「くまもん」もこのお祭りでその名を轟かせています。ゆるキャラグランプリは今年4回目。ぐんまちゃんは昨年(第3回)でも3位入賞を果たしています。次回も行われるのであれば、来年の干支は「午」ですから、これは期待できそうですね。

こういったゆるキャラが、例えば工事現場の仕切りであったり、看板やクリアファイルなどのデザインであったり、その地域を案内するガイドブックであったりとして使われていくわけです。固いデザインのものにゆるさが加わる

ことで、良い注目を集めるのでしょう。ぐんまちゃんに限らず、県内にはたくさんさんのゆるキャラたちがいます。それぞれに頑張ってもらって群馬県をアピールしてくれることを願っております。

そして有名になったゆるキャラたちが、パンフレットや写真集などを作って、紙をたくさん使ってくれたらいいなあと思う次第です。

(K)



ぐんまちゃん
ホームページより抜粋

マスキングテープ

7 月に行った弊社の展示会で、反響をいただいた商品の一つにマスキングテープがありました。実際に展示会で気に入っていただき、店頭に置いていただいているお客様もいらっしゃいます。このマスキングテープが今、大きなブームになっています。

手紙やアルバムの装飾はもちろん、家具や部屋のデザインに使ったり、防水スプレーと併用して屋外のものに使ったりと、用途も様々な広がりを見せています。

恐縮ではありますが例に挙げますと、私の妻もマスキングテープに熱くなっており、持っているテープの種類も 5 つや 6 つではありません。ちゃんと数えてはいませんが、少なくとも 50 種類は持っています。用途は友達や両親に対

しての手紙がほとんどですが、たまに私に持たせるおにぎりの包み紙にも貼られていたりして、「こんなものにも！？」と驚かされることがあります。

メーカーによって大きさや色柄も様々で、本人のセンスでいくらでもアレンジができます。数種類では満足できず、数十種類も集めてしまう具体例が身近にいますが、情報源はそれだけではないのでご安心を。

御興味がおありの方は、どうぞお問い合わせください。

(K)

漢方で風邪対策！

皆さんは「葛根湯（かっこんとう）」をご存知でしょうか。最近、西洋薬に対して漢方薬の効能が見直され始めています。「この症状にはこの漢方を」というくらい種類が豊富で、私自身、市販されている漢方薬を何種類か服用しています。葛根湯はその漢方薬の一種で、最近は「風邪に効く漢方薬」として知っている方も多いと思います。実際、本当に効くのかを前橋赤十字病院の産婦人科医師、大澤先生が発表していたのでご紹介いたします。

結論からいえば、葛根湯は風邪に対して有効であると大澤先生は言っています。ただ、服用するタイミングを間違えると、せっかくの効能が発揮されなくなってしまいます。葛根湯には「ここぞ」というタイミングがあるようです。それは次のとおりです。

- ①背中が急にゾクゾクして首筋が凝るとき
- ②まだ、喉の痛みや鼻水や咳が出ておらず、汗もかいていないとき

以上の 2 点です。要するに葛根湯は、風邪の引きはじめの状態で、最大の効能を発揮します。さらに、大澤先生は葛根湯の効能を最大限に発揮させる服用の仕方を紹介しています。それは、「専門医や薬剤師の指導のもとに、可能な範囲で

通常量の倍量程度を 3～4 時間おきに飲む」というものです。この服用方法で、たくさん汗をかくことが重要になります。

漢方薬の葛根湯と西洋薬の総合感冒薬とでは、考え方に大きな違いがあります。総合感冒薬には“熱冷まし”と“抗アレルギー”の成分が含まれています。それらの成分には体温を下げる効果があり、体温の低下は免疫能を落とすことが知られています。人が風邪を引いたとき熱を出すのは、体の中の免疫能を働かせやすくするためです。総合感冒薬は、そういった体の機能を、阻害してしまう可能性があるのです。

一方の葛根湯には、体温を上げる成分が含まれています。それにより免疫能を上げる効果が見込めます。たっぷり汗をかいて、体温を平熱に戻せば、風邪が治りスッキリ目覚めることができます。

薬にも相性があると思いますので、一概におすすめできるものではありませんが、「あれ？風邪かな？」と思ったときは、主治医や薬剤師にご相談の上、試してみてはいかがでしょうか？

(K)

第 23 回老人保健施設大会

去る 11 月 9 日、安中市松井田文化会館をメイン会場に、今年も第 23 回の群馬県老人保健施設大会が開催されました。

老人保健施設大会とは、県内の介護老人保健施設が一堂に集まって開催される大会です。研究発表や意見交換をして相互の研鑽を図ったり、講演やシンポジウムを公開して老人保健施設のことを多くの方々に理解してもらうことを目的としています。「在宅復帰に向けてー老健は何をするべきかー」をテーマにした今回の大会に、当社も協賛会社として参加させていただきました。

当日は天候にも恵まれ、多数の来場者を迎えて、盛大に執り行われました。会場は安中市松井田文化会館を中心に、安中市役所松井田支所等を利用し、メイン会場で開会式や特別講演が行われ、各会場に分かれてランチョンセミナーや演題発表が行われました。講演・セミナーの合い間や休憩時間には、来場者がメイン会場である安中市松井田文化会館の出展企業展示コーナーを訪れて、出展企業の展示を見たり、商品説明を受けていました。出展企業には、当社と同じく大人用の紙オムツの出展をしている企業のほかに、ベッドや車いすなどの福祉用具を扱っている企業や、利用者様向けの食品を扱っている企業もありました。

当社は、病院・施設向けに『大人用紙おむつ』を販売しております関係で、大会当初より協賛・参加しています。今回も当社は紙オムツの展示をメインに行いました。各オムツメーカー毎に多種多様な尿取りパッドを中心にテープ止めタイプやパンツタイプなどを展示紹介させていただきました。また、実際に展示してある商品に触れていただき、メーカーの担当者から商品の特徴や利点を説明をさせていただきました。そして、紙オムツメーカー各社の豊富な商品ラインナップから、利用者一人ひとりに合わせたオムツ選びのために各社の商品サンプルを配らせていただきました。

大勢の方々に当社のブースに立ち寄っていただきましたことに改めて、御礼申し上げます。残念ながら、展示時間終了前に事前に用意したサンプルを配り終えてしまった為、全ての方にサンプルを配ることができず、最後はカタログだけの対応となってしまいました。この場を借りてお詫び申し上げます。

当社はこれからも介護現場を側面よりサポートし、お役に立ちたいと思います。

(お)



当日の当社ブース写真